

# 外国人材の受入れに関する円卓会議 2020年度 第一回会合

## 新型コロナウイルスとグローバルな人の移動

令和2年5月21日（木）  
オンライン会合

国際移住機関（IOM）駐日代表  
佐藤 美央



# 新型コロナウイルスとグローバルな人の移動

- 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行は、医療・保健の問題であるだけでなく、国境管理制度と移住管理の双方から見た人の移動性と、紛争や自然災害によって避難を強いられている人も含めたすべての移動している人々の状況に**前例のない影響を及ぼしている**。
- 新型コロナウイルス感染症は、広範囲に長期的な人道的・社会経済的影響を与え、**特に移動する人々には更なる影響を与え得る**。
- **移民は他の市民と同様、あるいはそれ以上の脆弱性にさらされている**。混雑した住環境、短期雇用、不安定労働、公的医療サービスやその情報への限られたアクセス、経済的な事情で隔離などの措置が難しいなどの困難。

# 移動制限と国境閉鎖

感染症拡大を食い止めるための緊急の出入国管理に関する対応から、危機対応の中で限られた移動性の確保へと移行。

- 二国間あるいは地域での移動ルートの確保：
  - ✓ 豪州とNZ
  - ✓ ハンガリー
- 出入国管理と公衆衛生措置を一体化する議論
  - ✓ チリ「リリース・カード」
  - ✓ 「免疫パスポート」の議論
- 柔軟な査証・滞在許可対応：
  - ✓ 季節労働者：英国、イタリア、カナダ、豪州、ポーランド、ドイツ
  - ✓ 医療従事者、エッセンシャル・ワーカー
- 領事業務の拡大ニーズ
- 今後の査証、滞在許可証管理体制と技術的な課題

[https://www.iom.int/sites/default/files/documents/issue\\_brief\\_2\\_-\\_ibm\\_052020r.pdf](https://www.iom.int/sites/default/files/documents/issue_brief_2_-_ibm_052020r.pdf)